

「生きる力」を育てるために！

早起き



早起きは気分も良く、生活リズムを整え、心身の能力を発揮させます。

早寝



睡眠は健やかな成長に、欠かせません。睡眠不足は、心や脳の働きを鈍らせ、生活習慣病の原因となります。

朝ごはん



朝ごはんは脳や体を目覚めさせ、働きを助けます。

家庭教育の ルール

長岡京市教育委員会

靴そろえ



整理することは気持ちの良い生活が送れるとともに、心の中も整理され修養になります。

手伝い



家庭内での役割を担うことによって、責任と思いやりの心を育てるとともに、家族の一員としての意識を高めます。

あいさつ



あいさつは、心が温かくなり、たがいの絆や信頼が深まります。

わが家の目標・わが家のルール！

年中行事

会話

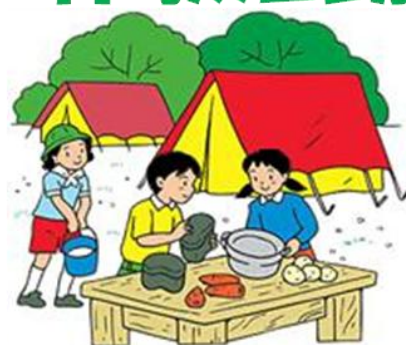


家族の会話を大切にしましょう。さりげない会話が生きる術を教えています。そして、言葉で表現することで伝わる「心」がたくさんあります。安心、信頼、感謝、思いやり…



家庭の中に伝統的な年中行事を取り入れましょう。古来から伝わる人々の願いや思いにふれることは、日々の生活を豊かにし、郷土を愛する心を育みます。

体験活動



バーチャルな体験ではなく、生活体験、自然体験等本物の体験活動に親子でチャレンジしましょう。自ら学び考える力を身につけ、豊かな人間性を育みます。

家庭教育の

ルールその②

長岡京市教育委員会

役割分担



家庭で役割を持たせましょう。家事を分担させることは、家族の一員としての自覚を育て、責任感や自立心を育みます。

読書



家族で本を読む習慣を築きましょう。読書は知識・教養を深めるだけでなく、表現力を高め、感性を豊かにします。

命・安全



家庭で命の大切さや安全について意識的に話す機会を設けましょう。いざという時、命・安全を守る危機管理能力を育むことになります。

「はばたく力」を育むために！

コミュニケーション

子は親の鏡



善悪の判断基準、社会のきまり、社会に通用するマナーを身につけさせるには、親の背中が一番のお手本になります。



自分の考え、判断で行動しようとする自我の目覚めの時期こそ、親は毅然とした態度をとりつつ、子どもの話にじっくり耳を傾け、必要に応じて助言することが大切です。

地域参加



地域ボランティアや行事などに関わることで、知識や技術とともに、協働の心や地域への愛着が育まれます。そして、そこから、「地域の子育て」も始まります。

責任分担



家庭の内外で責任ある仕事を分担したり、責任を果たす努力をするなど、日々の生活における一つ一つの小さな努力や我慢の積み重ねが、身も心も大きく育てます。

家庭教育の ルールその③ 長岡京市教育委員会

親の壁



「わが家の、これだけは絶対守らなければならないこと(親の壁)」は、家族の一員としての自覚やわが家への愛着を深めるとともに、社会に翔く原動力になります。

見守り



親は子どもの適性を理解し、認め、自信をもたせるとともに、子どもが夢をもち、自らの進路について主体的に考えられるよう、温かく見守り支えることが大切です。